

國際法外交雜誌

第104卷4号(2006年1月)

論説

The International Standards of Protection of the Human Person
in the Developing Case-Law of the Inter-American Court of Human Rights(1982-2004)
— Antônio Augusto CANÇADO TRINDADE(President of the Inter-American Court of Human Rights)
……1

国際裁判所の多様化

— 山形 英郎(名古屋大学教授) ……37

戦争概念の転換とは何か

—— 20世紀の欧州国際法理論家たちの戦争と平和の法 ——
— 西 平等(関西大学専任講師) ……63

研究ノート

米国一般命令第百号における「ゲリラ」の地位
—— Francis Lieberの「戦争法」理論 ——
— 黒崎 将広(東京大学大学院博士後期課程) ……91

資料

国連国際法委員会第57会期の審議概要
— 山田 中正(国際法委員会委員) ……112

日本の国際法判例(19)

—— 2002(平成14)年 ——
— 「日本の国際法判例」研究会(第2期) ……149

紹介

小田滋・石本泰雄編集代表
『祖川武夫論文集 国際法と戦争違法化 —— その論理構造と歴史性 ——』
— 柳原 正治(九州大学教授) ……230

Giovanni Distefano, L'ordre international entre
légalité et effectivité:
le titre juridique dans le contentieux territorial
— 許 淑娟 (日本学術振興会特別研究員) ……235

会報

国際法学会2005年度 (第108年次) 秋季大会 ……241
総目次 ……272

第104巻3号(2005年11月)

論説

国際環境法における予防原則の動態と機能
— 高村 ゆかり(龍谷大学助教授) …… 1

ILC越境損害防止条約草案とその特徴点

— 加藤 信行(北海学園大学教授) ……29

国際的環境損害の民事責任

— 出口 耕自(上智大学教授) ……44

国際仲裁・司法・準司法手続による環境基準設定

——国家間関係と国家・個人間関係——

— 繁田 泰宏(大阪学院大学助教授) ……60

地球環境ガバナンスの現況と展望

— 太田 宏(青山学院大学教授) ……85

資料

2005年の国際司法裁判所の裁判官選挙の結果について

— 秋葉 剛男(外務省国際法局国際法課長) ……113

紹介

大沼保昭 著『在日韓国・朝鮮人の国籍と人権』

— 金 東勲(龍谷大学名誉教授) ……116

吉村祥子 著『国連非軍事的制裁の法的問題』

— 森川 幸一(専修大学教授) ……123

奥田安弘 著『国籍法と国際親子法』

— 国友 明彦(大阪市立大学教授) ……129

国友明彦 著『国際私法上の当事者利益による性質決定』

— 神前 禎(学習院大学教授) ……134

足立研幾 著『オタワプロセス——対人地雷禁止レジームの形成』

— 山田 高敬(首都大学東京教授) ……139

会報

国際法学会評議員選挙公示予告 ……144

第104巻2号(2005年9月)

講演

国際司法裁判所判事3期27年の任期を終えて

— 小田 滋(日本学士院会員) …… 1

論説

未承認国家と地域の安定化の課題

——ナゴルノ・カラバフ紛争を事例に——

— 廣瀬 陽子(東京外国語大学講師) ……13

Responsibility of States and Non-State Actors

— James CRAWFORD (Professor, University of Cambridge) ……42

Some Legal Aspects of International Disputes

— Gerhard HAFNER (Professor, Vienna University) ……65

資料

判例研究・国際司法裁判所

リギタン島とシパダン島の主権に関する事件（インドネシア/マレーシア）

——フィリピンによる訴訟参加の申請——（判決・2001年10月23日）

— 国際司法裁判所判例研究会 ……80

ドイツ国際法学会研究大会参加報告 ……108

ヨーロッパ国際法学会創立大会参加報告 ……113

紹介

横田洋三・山村恒雄 編『現代国際法と国連・人権・裁判

——波多野里望先生古稀記念論文集——』

— 東 泰介(大阪学院大学教授) ……124

山下泰子・植野妙実子 編著『フェミニズム国際法学の構築』

— 中井 伊都子(甲南大学教授) ……131

安藤仁介・中村道・位田隆一 編『21世紀の国際機構：課題と展望』

— 吾郷 眞一(九州大学教授) ……135

川島真 著『中国近代外交の形成』

— 石井 明(東京大学教授) ……140

浅田正彦 編『兵器の拡散防止と輸出管理』

— 村井 友秀(防衛大学校教授) ……148

Gilles Cuniberti, *Les mesures conservatoires portant sur des biens situés à l'étranger*

— 的場 朝子(神戸大学講師) ……153

Mireille M. M. van Eechoud,

Choice of Law in Copyright and Related Rights

Alternatives to the Lex Protectionis

— 申 美穂(京都大学助手) ……159

主要文献目録

国際法 — 西村弓・森田桂子 ……164

国際私法	—北澤安紀・神前 禎	……194
国際政治・外交史	—井上実佳・和田龍太	……209

会報

国際法学会2005年度（第108年次）春季大会	……224
『国際法外交雑誌』総索引（第1巻～第100巻）の会員特別割引について	……232

第104巻1号(2005年5月)論説

最近における主権免除原則の状況

— 広部 和也(成蹊大学教授)	…… 1
-----------------	------

破綻国家からの難民に関する諸問題

—— 難民認定における迫害主体をめぐる諸問題を中心にして ——	
— 本間 浩(法政大学教授)	……22

国際機構による領域管理と法

— 山田 哲也(椋山女学園大学助教授)	……49
---------------------	------

国際刑事裁判所の一事不再理の原則に見られる管轄権調整ルールを検証

— 稲角 光恵(金沢大学助教授)	……74
------------------	------

Omnilateralism and Partial International Communities:

Contributions of the Emerging Global Administrative Law

— Benedict KINGSBURY(Professor, New York University)	……98
--	------

紹介

坂元茂樹 著『条約法の理論と実際』

— 岩沢 雄司(東京大学教授)	……125
-----------------	-------

Shigeru Oda,

Fifty Years of the Law of the Sea:

With a Special Section on the International Court of Justice

—— *Selected Writings of Shigeru Oda,*

Judge of the International Court of Justice

— 三好 正弘(愛知大学教授)	……130
-----------------	-------

会報	……137
----	-------